

【声明】

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に断固抗議し、戦争の中止を求める

2022年3月7日

津軽保健生活協同組合

理事長 安田 肇

2022年2月24日、ロシアのプーチン政権がウクライナ全土への軍事侵略を開始しました。ロシア軍は軍事施設だけでなく、ウクライナの主要都市および人口密集地、病院、学校にまで攻撃を行っており、数千万人のウクライナの人々が命の危険にさらされています。このような武器をもたない民間の人々を攻撃する非人道的行為は決して許されません。

ウクライナへの軍事侵略は、ウクライナの主権、政治的独立を脅かすものであり、断じて許されません。とりわけ「主権の尊重」、「領土の保全」、「武力行使の禁止」を義務付けている国連憲章、国際法に違反しています。このような国際秩序、国際平和の根本を揺るがす暴挙に対して断固抗議し、軍事侵略の即時中止を求めます。

プーチン大統領は、「現在のロシアは、最強の核保有国の一つであり、ロシアへの直接攻撃は、潜在的な侵略者にとって、敗北と壊滅的な結果をもたらす」と発言し、核兵器使用の恐怖によって国際社会への威嚇を行いました。このようなプーチン大統領の発言は、核兵器の開発・製造・備蓄とともに威嚇を禁じた核兵器禁止条約に反するものです。万が一にも核兵器が使用されれば、地球と全人類に壊滅的影響を与えることは明白であり、許されることではありません。

ロシア軍は、欧州最大規模のザポロジエ原発を攻撃し、原発施設の一部が破壊されました。万が一原子炉が破壊された場合、福島第一原発やチェルノブイリ原発事故をはるかに超える世界規模の大惨事につながる危険性があります。これは人類全体の生存を脅かす犯罪行為であります。

津軽保健生協はなによりも地域住民、組合員のいのちと健康を守ることを使命とし、医療、福祉、社会保障の充実と平和をめざして活動を続けてきました。平和といのちを脅かす最大のものは戦争であり、いのちを守る担い手である医療者として看過することはできません。よってロシアによるウクライナへの軍事侵略と主権侵害に断固抗議し、厳しく糾弾するとともにロシア軍の即時撤退を求めます。

以上